

浦和大里小コミスクだより

令和6年度 第2号 令和6年9月26日

今年度の第2回学校運営協議会が9月19日（木）に行われました。

今回は、委員の皆様にご授業参観をいただいた後、代表委員会児童による発表、本年度の教育活動の取組の説明、「目指す子ども像を実現するための学校・地域・児童の取組」に関する熟議を行いました。



1 代表委員会児童発表の概要

児童会のテーマ「笑顔」。そのための取組として

- ①大里小ポスト
- ②大里小のオリジナル心を潤す4つの言葉
- ③あいさつ運動（正門・北門、後期は地域の方と共にやりたい）

こんな学校にしたい

- ①大里っ子ラジオ
- ②委員会体験・代表委員会体験
- ③浦和大里小オリジナル心を潤す4つの言葉を使った実践

【その後の委員の皆様のご感想等】

○みんな自分たちの学校のことを前向きに考えていて、とてもよかった。また、夢やあこがれをもつことはとてもよいことである。

○自分たちの学校をこのようにしたいと積極的に発信できることは素晴らしい。

2 本年度の教育活動の取組の説明

始めに教頭より「いじめ対策委員会」の報告を行いました。以下が概要です。

本校では、「さいたま市いじめ防止基本方針」「浦和大里小いじめ防止基本方針」を前提に、いじめは被害児童等が心身の苦痛を感じているもの、いじめはどこでも、どの児童にも起こりうるものとの認識で取り組んでいる。

具体的には、「いじめ発生時の具体的対応について」のフローチャートをもとに対応している。目標は「いじめ0」より「いじめ見逃し0」。

未然防止策として、「いじめをしない、許さない」資質を育むためにあらゆる教育活動の場面において、道徳教育に資する学習の充実や「いじめ撲滅強化月間」の取組を実施している。

次に校長より「全国学力学習状況調査」結果と1学期に示した「4つの目標」の進捗状況について報告を行いました。以下が概要です。

「全国学力学習状況調査」の「教科」では、国語・算数とも全国・県・市平均よりも本校の正答率は高かったため、大変よかった。

「質問調査」では、各教員の指導や保護者のご協力が功を奏して、おおむね良好な結果が出ている。しかし、「将来の夢や目標をもっている。」と「算数の勉強は好き。」の設問は、全国平均よりやや低かったため、その点を補う内容を取り入れて、積極的に実践している。

「4つの目標」の進捗状況

目標1 WELL-BEING

なぜうまくいったのか、なぜ成功したのかを具体的に考えさせるとともに、失敗したらその理由を問うのではなく、次はどうしたらよいかを考えさせるようにした。

目標2 地域とともにある学校

代表委員等が積極的に言いたいこと、やりたいことを校長室に言いに来るようになった。

3・4・5年生では、地域をフィールドにした学習を実践している。

目標3 安全で清潔な学校

各種資料室等の整理をし、相談スペースを設置したり、安全点検結果で、異常が確認されたときは、即日対応したりしている。

目標4 真の学力の育成

教員研修については、研究教科を自分で決め、グループで積極的に研究を進めている。

家庭学習については、宿題をもっと出してほしいという声もあるが、学校としては、子どもが自分で自分の課題を考えて取り組むような方向にもっていきたい。

目標5 生き生きと働く教職員集団

教科等の余剰時数を整理したことにより、事務時間を確保できるようになった。

専科教員を学年の副担任に割り振ったことが、とても効果的である。

3 「目指す子ども像を実現するための学校・地域・児童の取組」に関する熟議

地域グループから
こんな意見が出ました



- 子どもがあこがれや希望を持てるよう地域もしっかりしなければならない。
- 大里っ子チャレンジスクールでは、地域の伝統行事である盆踊り・祭り太鼓や囲碁教室等を行っている。
- ヒヤリハット地図に子どもたちの視点も取り入れたものにするとういのは、
- 登校時よりも下校時の方が車の通行も多く危険なので、その実態把握に努めてほしい。

保護者等グループから
こんな意見が出ました



- 基本的に子どものやりたいことを後押ししていきたい。学校が地域や家庭に要望があるのに言いにくかったら、PTA役員等に言ってもらえれば、すぐに動くつもり。
- 下校時のあいさつ当番は、今後も継続していく。

そのほかにも
こんな意見が出ました



- 本日の子どもたちの様子を見て、改めて先生方の指導の重要性と代表委員の児童の成長を感じた。
- 代表委員の発表には感動した。今後も大好きな大里小のために活躍してほしい。
- 今日は、代表委員の児童の考えを聞いてよかった。学校地域連携コーディネーターともしっかりコミュニケーションをとって連携したい。
- 通学班の班長があいさつできる班の子は、ほとんどの子があいさつできるので、朝、集合した際に、保護者がいたらあいさつをするようにその場で指導してほしい。
- 本日の授業参観では、日本人として字を書くことは、とても大切と思うが、PCの多用で書く機会が減ってしまうことが危惧されると感じた。
- 子どもは、朝のあいさつの様子を見ても元気ではつらつとしている。子どもには、伸びしろがあるので、それを発見してもらいたい。また、人間の能力は伸びるので、押し上げていきたい。あなたのいい所は、こういう所だよと子どもたちに言ってほしい。